

てなつなごう～!

# 「こどものちから」通信

NO. 3 2013.3月発行&不定期発行



## 明けまして おめでとうございます!

と言いたかったのに～・・・



2013年の幕が開けて、もう一月が過ぎ、二月が過ぎて、三月になってしまいました。まるで冬眠していた熊さんのように・・・月日が流れてしまいました。5ヶ月ぶりの通信発行になってしまい、本当にご無沙汰いたしました。この5ヶ月間の「こどものちから」の活動と今後の予定をお知らせ致します。

上の4枚の写真に写っているのは何か、皆さんご存知でしょうか？高尾山で撮影した霜柱です。別名雪寄草(ゆきよせそう)とも言います。地下から吸い上げられた水分が、地上に出ている枯れた茎からしみ出して、夜半に気温が氷点まで下がり、雨や雪が降らず、強風が吹かないなどの様々な条件が重なることで、早朝この霜柱の花に巡り会うことが出来ます。繊細で触るとすぐに壊れてしまう霜柱。自然の力の偉大さを感じますね。





## 「こどものちから」 お楽しみイベント 第1回

「焼き芋会」を行いました。

※実施日時：11月3日(土) AM11:00～PM14:30

※実施場所：潮風公園バーベキュー広場

「季節ごとに、季節を感じるイベントがしたい。」というお友達の声から、「こどものちから」第1回目のお楽しみイベント「焼き芋会」を実施致しました。記念すべき第一回イベントは、二週間前に小児がん患者となってしまうお友達とご家族を中心に、お忙しいお仕事の合間をぬって主治医も参加して下さり、アットホームな雰囲気の中で無事に執り行うことが出来ました。



### <会計報告>

※参加者：大人7名、患児1名

※収入：①参加費：¥3000×7名=¥21000

②寄付：¥2000 ・ サツマイモ・みかんと焼き菓子・おにぎりとお新香

③合計：¥23000

※支出：①グッズレンタル料：¥16400 ②食材（飲み物含む）：¥5412 ③合計：¥21812

※収支計：¥1188

皆さまのご協力のおかげで、残金¥1188をこどものちから準備室の口座に入金することが出来ました。



### <参加者からの感想>

- ・「こどものちから」第一回イベントに相応しいさわやかな秋の1日でした。みんなでおしゃべりしながら、ほっこり熱々の焼き芋を頂きました。本当に美味しいおいもさんでした。次回も楽しみに待ってま〜す。ありがとうございました。
- ・病気になって初めての外出で少し気持ちも晴れました。🍁美味かった〜、いろんな人と話せてうれしかった😊

・静かで穏やかな一日でした。こどものちから一回目🍁会、まさか発病してしまった我が息子と共に参加することになるなんて…。本当にたくさんの人たちの支援に助けられて、今の私たちがいます。

甘くてほっこりした🍁は、生涯忘れられない味となりました。ありがとうございました。

・色々にご準備大変だったかと思いますが参加させていただきありがとうございました！

・今日は素晴らしいお天気になり本当に良かったですね。信州のおいもから繋がられて嬉しいですよ〜😊🍁貰って幸せを感じる事ができました。ありがとうございました。💖



## <NPO 申請>

2012年12月25日(火)、東京都生活文化局都民生活部管理法人課宛にNPO申請書類を一式郵送し、翌26日(水)收受されたとの連絡を頂きました。

特に問題がなければ、4ヶ月後には特定非営利活動法人設立認証を受けられる予定です。

認証を受けられるようになるまでに基盤整備と合わせて、出来ることから少しずつ活動を開始致しました。

皆さまのご意見とご参加を

お待ちしております。

## <2013年カレンダー>

沢山の方に「こどものちから」という団体が生まれて、活動を始めたことを知って頂きたくて、活動内容をかわいいイラストにした2013年のカレンダーを作成致しました。

200部作ったカレンダーは、まるでたんぼぼの綿毛のように沢山の方のところへ飛んでいきました。

「こどものちから」へ応援の輪が広がり、ご購入頂いたり、ご寄付を頂くことが出来ました。

おかげさまで運営資金も少しずつ集まり始めました。

皆さまに感謝申し上げます。

## <入院するって子どもにとってどんなこと>

### ～教育現場から見た子どもの気持ち～

私は10年にわたって『いるか分教室（国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科病棟にある特別支援学校の分教室）』で勤務しました。保護者の皆様とも随分お話しさせていただきました。今回、子どもの気持ちというお題をいただきましたので、大勢の子どもたちと話しながらからえてきたことをお伝えしたいと思います。

私も親の一人ですが、子どもの病気となりますと、これは親の気持ちとしては大変に苦しいものです。どうしてこうなったという思い。どうなってしまうのだろうという不安。なんとしても治そうとする決意。仕事との両立や家族の役割や親戚とのあれこれなど、御苦労が絶えないことと思います。



ところで、そんなとき子どもはどう感じているのでしょうか。病気で入院する子どもの立場って、結構身も蓋もないんです。子どもの一日って何でできているかということを考えてみてください。まず家庭があります。そして学校。お稽古事や塾が入る子もいます。小児がんのような病気となると、これが全部バツ。なくなるんですね。家庭に関しては異論があると思います。

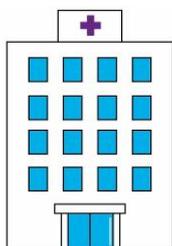


「なくしてない！！子供を治すために必死なのに。」  
そういうことを言っているわけではなく、「非常時ですよ。」という意味です。

子どもは、“自分のどこがいけなかったか”と思うそうです。  
僕（私）は、どうしてこうなった？  
何か悪いことをしたからじゃないか？  
おかあさんもおとうさんも、いつもと違う表情です。  
“必死”だから。



学校には行かなくていいということになりました。  
塾もしばらく休みです。野球もバスケットもしばらく休みです。  
関わる相手は主に看護師さんとドクター。痛いことをします。  
ペットには会えません。友達にも会えません。ご飯は病院食です。  
治療して、入院前より具合が悪くなったり。病室から出られない。・・・。  
こんなひどい目に遭うのは、何か悪いことをしたからじゃないのか？ きっとそうだ。  
子どもたちはそう思っています。



それはそうでしょう。子どものしつくてそうやっていますよね。  
日本の民度の高さは世界に誇れるレベルですが、“因果応報”であったり“バチが当たる”であったり、原因と結果に対して厳しい側面がある。ですから、そんなことは当然わかっている、いまさらなにをいうかと叱られるかもしれませんが、子どもの気持ちについては、是非寛大なご理解をいただきたいと思うのです。

これは別の言い方をすると、  
“小児がんで入院治療と云うことになると、子どもは社会的存在としての自己を失ってしまうので、その面について支援を必要としている”という言い方になります。

病院内の分教室は、そこにいる子どもたちに対して社会性を回復することで子どもたちを元気づけるとともにチーム医療の一翼を担っているということができているのです。分教室をはじめとした教育支援のない場所では、子どもたちは上記の支援が得られません。また、治療方針として極力入院期間を短縮する流れもあります。退院しただけで地元の学校に通うわけにもいかない。そんな状態が増えています。

私たちが何とかしたいと思っているのはそういうところです。



高水英壽

## <創傷治療の今ドキ事情>

### ～看護師の立場からの提案～



これから春まっさかり。お出かけの機会も増え、ついハメをはずして…  
もし皆さんは傷ができてしまった時どうされていますか？

今までは当たり前のように、よく消毒して、お薬ぬって、ガーゼをあてて、と決まっていたね。ところが、最近は今までの半分の日数で治り、痛くなく、毎日の通院も必要なくなってしまう治療に変わりつつあるのです。

傷を大きくまとめて創傷（そうしょう）、といいますが、新しい創傷治療の3原則があります。

1. すべての傷に消毒しない。
  2. すべての傷は水道水でよく洗浄する。必要なら、不要な皮膚を外科的に取り除く。
  3. すべての傷は被覆剤で覆って、湿潤状態を保つ。
- ※決して傷は乾かさない。ガーゼは使わない。



ね、びっくりでしょう？

私も看護師10年以上ですが、もちろん学生時代は上記のように習っていませんでした。今では消毒液が、治ってくる皮膚を痛めたり、ガーゼで乾かしてしまうことが治りを遅くしたりすることがアメリカの研究でも裏付けられてきました。これらは、今寝たきりの方で増えている褥瘡（じょくそう）にも新たな提案をしつつあります。

実は治ってくる時に体から出てくる液体に、何十もの、傷を治す成分が含まれていることが発見されたのです。キズパットなど薬局で、広く知られるようになってきました。

詳しくは、湿潤療法で調べると良いでしょう（'▽`）ノ

小林文香

## <おもちゃ紹介>

### ～カプラ～



フランス生まれの、比率1:3:15  
という白木の板、これがカプラです。

積み木やブロックと同じ、組み合わせることで様々な形を作り出せる「不思議な板」です。シンプルだからこそ遊びは自由。年齢も老若男女を問わない幅の広さです。1人でも、大勢でも遊ぶことができます。軽くて安全なこの板は、高さ比べをしたり、建物や不思議な生き物を作ったり、並べてドミノ倒しも楽しめます。形をイメージして、新しい物を創り出すことから想像力を養い、つい夢中になってしまうことから集中力をつけてくれます。板を重ねるだけなので、作業の途中に崩れることがあります。そこにハラハラ・ドキドキ・ワクワクの興奮と「今度こそ…」と挑戦する力も湧いてきます。遊びに必要な場所も問いません。広げられるスペースに合わせて変化することが出来、他のおもちゃと組み合わせることで楽しむことができます。

“シンプル”であるすばらしさを感じさせてくれるおもちゃです。

井上るみ子



## <絵本紹介>

### ～「100万回生きたねこ」～ 佐野洋子 作・絵 講談社刊



心が尋常でない力で揺すぶられる絵本です。

100万回生きたねこは、だれから愛されても心が動きません。しかし、白いねこに出会って初めて愛することを知ります。そしてその白いねこが死んだとき、主人公のとらねこは100万回なきます。愛することを充分に知って、白ねこに去られたとき、そのねこはまるで白ねこに会いに行くように、2度と目覚めることはありませんでした。愛することが、命あるものにとってどれほど意味深いことかを教えてくれる絵本です。

たとえ100万回生きて、生まれ変わっても、ひとりの白いねこの死は、このねこにもう一度生まれ変わることの必要性を去らせてくれるのです。

ぼくは、とらねこが、天国で白いねこと永遠に一緒にいることを信じたい。愛はこの世で完結するものではなく、この世で出会って永遠の天国で結ばれるものであるということを示すのではないか。そのいのちの出会いの愛の無限性にぼくは涙がとまりませんでした。

山本雅基

～出来ることから始めよう!!～

### ※定期交流会・・・2013年1月～

毎月第4土曜日午後1時～3時、病児とご家族を対象に、「手作りおもちゃとストラップ教室&マッチおぼさんのゆるゆるマッサージ体験」を始めました。身近な材料を使っての簡単なおもちゃ作りに挑戦したり、マッチおぼさんのゆるゆるマッサージで疲れた身体を優しく労ってあげたり、おしゃべりしながらストラップ作りに挑戦しましょう。

- ・1月26日(土)・2月23日(土)カフェ アリエッタ 3Fにて開催
- ・3月16日(土) カフェ アリエッタ 3Fにて開催予定
- ・4月27日(土) 場所未定
- ・5月25日(土) 場所未定

参加費：大人500円、病児・子ども無料

※ご参加下さる方、井上までご連絡お待ちしております。

※マッチおぼさんから・・・内容は、医療用保温気で温めて希望者には手足にお灸をします。その後ゆるゆるとマッサージをして、気を入れて終了です。

### ※藤田浩子さんお話し会

戦時中、福島の三春へ疎開した時に、隣の畑のおじいさんから昔話を聞いて育った藤田さん。その後、幼児教育者として活躍されながら、語り手として全国各地の幼稚園から大学、市民ホール等々を巡り、ついにはアメリカまでも公演活動を広げられ、お話しのおもしろさを伝えてくださっています。おらかな藤田さんの素敵なお話しにいつもと違う穏やかな時間を過ごしましょう。

日時：5月8日(水)午後2時～4時

場所：聖公会 浅草聖ヨハネ教会

住所：〒111-0051 東京都台東区蔵前2-7-6

対象：病児・家族・一般 ※要予約

参加費：大人500円、病児・子ども無料

※申込み：井上み子もしくは松本待子まで

松本待子・・・Fax：03-3644-9247

### ※パストラル・ハープのご自宅訪問

日本福音ルーテル社にて行われております「パストラル・ハープ」。ゆったりと優しく奏でられるハープの音色と歌声は、痛みの軽減・心拍数や呼吸、精神的な安定をもたらす効果もあると言われています。グレゴリオ聖歌や祈禱歌、子守歌、童謡などを中心とした曲が、聞き手の状態に合わせて演奏されます。在宅療養となり外出がままならない病児が、ゆとりと癒しの時間として御希望される時に、ご連絡ください。手配させていただきます。

※定例会・お話し会・パストラルハープ・お花見に関するご連絡・お問い合わせ・・・

「こどものちから」準備室 井上み子

TEL：080-6867-6135

アドレス：power-of-children@ezweb.ne.jp

<お誘い>

### <お花見>

やっぱり春は、お花見ですね。三寒四温・花粉症シーズン到来という季節になりました。・・・木の芽は着実に膨らみ始めています。「こどものちから」お楽しみイベント第2回。季節を感じる行事として「お花見」を企画致します。青空の下で、家族やお友達と食べるお弁当は格別だと思います。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

清澄公園の隣は、清澄庭園。明治11年、岩崎弥太郎が、荒廃していたこの邸地を買い取り社員の慰労や貴賓を招待する場所として庭園を造ったと言う、明治を代表する「回遊式林泉庭園」なのだそうです。お花見の後は、疲れていなかったら、この庭園を散歩するのも良いですね。

日時：4月7日(日) 午前11時～午後1時

場所：清澄公園

住所：東京都江東区清澄2-2

最寄り駅：東京メトロ半蔵門線 都営地下鉄大江戸線

清澄白河駅 A3 出口徒歩3分

対象者：病児・家族

参加費：大人1000円、病児・子ども無料

参加申込み：「こどものちから」準備室 井上み子まで

TEL：080-6867-6135

アドレス：power-of-children@ezweb.ne.jp

申込み締め切り：4月3日(水)



<協力団体>

※カフェ アリエッタ

<発行>「こどものちから」準備室

〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

TEL：080-6867-6135

アドレス：power-of-children@ezweb.ne.jp

口座番号(郵便局)：10070-70716531

口座名称：「こどものちから 準備室」